

# 天然温泉 わたすげのゆ

Tennen Onsen Watasugenoyu  
(群馬県沼田市)



外観

海外出張から帰ってきて、翌日朝からスキーである。我ながらタフだ。それもそのはず、「2週間」もスキーをしていないから、体がうずうずしている。

本日は尾瀬岩鞍へ行ってきた。尾瀬岩鞍は、私が好きなグレンデの一つだ。標高差が大きく、コースは多い。ゴンドラでグレンデトップへ行けば、ロングクルーズを楽しむことができる。急斜面もコブもポールバーンもあって、大満足になるのだ。

スキーを終え、ブーツで痛めつけられた足をいたわるために温泉にやってきた。今回紹介する温泉は「わたすげのゆ」。国道120号線沿いにあり、大変目立つ建物なので、ここを通る人はみなその存在に気付いていることであろう。

温泉は受付の下の階にある。珍しく、階段途中に下駄箱がある。

脱衣室にはロッカーがなく、脱いだものは籠に入れる。貴重品は脱衣室前の貴重品ロッカーへ入れよう。100円を投入するタイプであるが、100円は戻ってこない。脱衣室に2個ある洗面台にはドライヤーもある。

浴室は10か所の洗い場と、内湯と露天風呂である。この時期、浴室に入ると少々寒く感じる。露天風呂に通じる屋外へ出ればなおさらだ。要は、早く浴槽につかれということである。内風呂は適温で定員20人くらい、露天風呂はぬるめで定員15人くらいである。

浴槽も含めて建物は黒と白を基調にしたシックな和洋折衷デザインである。一番高いところには直径60cmもの丸太が使用され、浴槽はタイル仕上げだ。そして、内風呂の天井はなぜか星の形にくり抜かれている。設計者によれば、星のそれぞれの頂点が、この付近の観光地の方角を指しているとのことだ。また、露天風呂は自然と出会う場所。それがこの

設計者の追求したコンセプトだそうだ。洗い場には、シャンプーとボディーソープが具備。カランは、シャワーヘッド付自閉式サーモスタット混合栓である。

尚、今回紹介したのは男湯の「星の湯箱」。女湯は「月の湯箱」と呼ばれ、また違った浴室になっているようだ。これらの 2 つの浴室は月替わりで入れ替わることになっているらしい。

温泉と同じ階には休憩室もある。コタツが 2 個並べられ、コミックも多数置いてある。コタツで寝てしまいそうになること間違いない。他に、マッサージ椅子も 2 基ある。

受付へ戻ると、湯あがりに冷たい麦茶を勧められた。ここの店員は親切で、よく声をかけてくれる。

ちなみに、わたすげのゆはアルカリ性単純温泉で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進に効くという。

スキーの後は温泉に限る。あ～またスキーがしたくなってきた。

- **名称**：天然温泉 わたすげのゆ
- **所在地**：群馬県沼田市利根町平川 1514-1
- **電話**：0278-56-3456
- **営業時間**：9：00～22：00
- **定休日**：無休
- **通常入浴料**：大人 550 円、小人（3 歳～小学生）300 円
- **サウナ**：なし
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013 年 2 月 2 日（土）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部